【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成26年12月25日(2014.12.25)

【公表番号】特表2013-534666(P2013-534666A)
【公表日】平成25年9月5日(2013.9.5)
【年通号数】公開・登録公報2013-048
【出願番号】特願2013-515726(P2013-515726)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　13/10　　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　 9/46　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　13/10　　３３０Ｃ
Ｇ０６Ｆ　 9/46　　３５０

【誤訳訂正書】
【提出日】平成26年10月8日(2014.10.8)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
コンピューティング環境においてアダプタへのアクセスを提供するための方法であって、コンピュータ・システムが、
ゲスト・プロセッサによってゲスト命令を実行するステップであって、前記ゲスト命令はアダプタにアクセスするための要求を含む、前記実行するステップと、
前記ゲスト命令が前記アダプタに直接アクセスすることの許可がされているかどうかを決定するステップであって、前記許可は、ホスト・オペレーティング・システムによって行われる、前記決定するステップと、
前記許可がされていることに応答して、前記ホスト・オペレーティング・システムのホスト介入なしに前記ゲスト命令の実行によって前記アダプタのアドレス・スペースの１つまたは複数に直接アクセスするステップであって、前記直接アクセスすることが、前記ホスト介入なしに前記ホスト・オペレーティング・システム上で実行中の仮想マシンがホストするゲスト・オペレーティング・システムに提供される、前記アクセスするステップと、
前記許可がされていないことに応答して、前記ゲスト命令の実行を前記ホスト・オペレーティング・システムのホスト介入によって実行するステップと
を実行することを含む、前記方法。
【請求項２】
前記決定するステップが、前記ゲスト命令を実行するゲスト・プロセッサが前記アダプタにアクセスすることを認証されているかどうかを決定するステップを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記ゲスト・プロセッサが前記アダプタにアクセスすることを認証されているかどうかを決定するステップが、前記決定を実行するために認証トークンを使用する、請求項２に記載の方法。
【請求項４】
前記ゲスト・プロセッサが前記アダプタにアクセスすることを認証されているかどうか

を決定するステップが、指定された位置に記憶された前記認証トークンと、前記ゲスト・プロセッサに関連付けられた認証トークンとを比較するステップを含み、前記指定された位置に記憶された前記認証トークンと、前記ゲスト・プロセッサに関連付けられた前記認証トークンとが等しいことが認証を示す、請求項３に記載の方法。
【請求項５】
前記ゲスト命令が前記アダプタに直接アクセスすることの許可がされているかどうかを決定するステップが、
前記ゲスト・プロセッサがアダプタ・アクセス解釈に使用可能であるかどうかを決定するステップと、
前記アダプタがアダプタ・アクセス解釈に使用可能であるかどうかを決定するステップと、
前記アダプタに関連付けられ、前記要求内に指定された機能ハンドルが、使用可能であるかどうかを決定するステップであって、前記ゲスト・プロセッサが認証されていること、前記ゲスト・プロセッサがアダプタ・アクセス解釈に使用可能であること、前記アダプタがアダプタ・アクセス解釈に使用可能であること、および、前記機能ハンドルが使用可能であることに応答して、前記ゲスト・プロセッサがアクセスすることを許可される、前記決定するステップと
をさらに含む、請求項２に記載の方法。
【請求項６】
前記ゲスト命令の実行が前記アダプタのアドレス・スペースに直接アクセスし、前記アクセスするステップが読み取りまたは書き込み動作を含む、請求項１～５のいずれか一項に記載の方法。
【請求項７】
前記コンピュータ・システムが、
前記ゲスト命令の実行への介入を希望することを前記ホスト・オペレーティング・システムによって決定するステップ
をさらに実行することを含み、
前記ゲスト命令の実行が、前記ホスト・オペレーティング・システムのホスト介入希望の決定に応答して行われる、請求項１～６のいずれか一項に記載の方法。
【請求項８】
前記コンピュータ・システムが、
前記ゲスト命令が前記アダプタに直接アクセスできるようにするために、前記ゲスト・プロセッサに代わって、前記ホスト・オペレーティング・システムによって１つまたは複数のアクションを実行するステップ
をさらに実行することを含む、請求項１～７のいずれか一項に記載の方法。
【請求項９】
前記１つまたは複数のアクションが、
１つまたは複数の特定の特権が与えられた命令の解釈について、前記ゲスト・プロセッサを認証すること、
１つまたは複数の特定の特権が与えられた命令の解釈について、前記ゲスト・プロセッサを使用可能にすること
を含む、請求項８に記載の方法。
【請求項１０】
コンピューティング環境においてアダプタへのアクセスを提供するためのコンピュータ・システムであって、
メモリと、
前記メモリと通信するプロセッサと、
を備えており、請求項１～９のいずれか一項に記載の方法の各ステップを実行するように構成された、コンピュータ・システム。
【請求項１１】

コンピュータ・システムに、請求項１～９のいずれか一項に記載の方法の各ステップを実行させる、コンピュータ・プログラム。
【請求項１２】
コンピューティング環境においてアダプタへのアクセスを提供するためのコンピュータ・システムであって、
メモリと、
前記メモリと通信するプロセッサと、
ゲスト・プロセッサによってゲスト命令を実行するゲスト命令を実行するための実行器であって、前記ゲスト命令はアダプタにアクセスするための要求を含む、前記実行器と、
前記ゲスト命令が前記アダプタに直接アクセスすることの許可がされているかどうかを決定するための決定器であって、前記許可は、ホスト・オペレーティング・システムによって行われる、前記決定器と
を備えており、
前記実行器が、前記許可がされていることに応答して、前記ホスト・オペレーティング・システムのホスト介入なしに前記ゲスト命令の実行によって前記アダプタのアドレス・スペースの１つまたは複数に直接アクセスし、当該直接アクセスすることが、前記ホスト介入なしに前記ホスト・オペレーティング・システム上で実行中の仮想マシンがホストするゲスト・オペレーティング・システムに提供され、
前記実行器が、前記許可がされていないことに応答して、前記ゲスト命令の実行を前記ホスト・オペレーティング・システムのホスト介入によって実行する、
前記コンピュータ・システム。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１１】
コンピューティング環境内でアダプタへのアクセスを提供するためのコンピュータ・プログラム製品の提供を通じて、従来技術の欠点が克服され、利点が提供される。コンピュータ・プログラム製品は、処理回路によって読み取り可能であり、方法を実行するための処理回路による実行に関する命令を記憶する、コンピュータ読み取り可能記憶媒体を含む。方法は、たとえば、アダプタにアクセスするための要求を含むゲスト命令を実行すること、ゲスト命令がアダプタに直接アクセスすることを許可されているかどうかを決定すること、許可されていることに応答して、ホストの介入なしにアダプタの１つまたは複数のアドレス・スペースに直接アクセスする実行、および、許可されていないことに応答して、ホスト・オペレーティング・システムへインターセプトすること（intercept）ことを生じさせる実行を含む。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１５】
【図１】本発明の１つまたは複数の態様を組み込みおよび使用するための、コンピューティング環境の一実施形態を示す図である。
【図２】本発明の態様に従って使用される、デバイス・テーブル・エントリの一例を示す図である。
【図３】本発明の１つまたは複数の態様を組み込みおよび使用するための、中央処理コンプレックスの一実施形態を示す図である。
【図４】本発明の態様に従った、アダプタ機能のアドレス・スペースの一例を示す図であ

る。
【図５】本発明の態様に従って使用される、機能テーブル・エントリの一例を示す図である。
【図６】本発明の態様に従って使用される、機能ハンドルの一実施形態を示す図である。
【図７】本発明の態様に従った、アダプタ機能からデータを読み取るＰＣＩロード命令の一例を示す図である。
【図８】本発明の態様に従った、アダプタ機能へデータを書き込むＰＣＩ記憶動作の一実施形態を示す図である。
【図９】本発明の態様に従った、アダプタ機能へデータを書き込むブロック記憶動作の一実施形態を示す図である。
【図１０】本発明の態様に従った、アダプタ機能のアドレス・スペースへのゲスト直接アクセスを実行可能にするために、ホストによって実行されることになる初期化の一実施形態を示す図である。
【図１１】本発明の態様に従った、ゲストの代わりに実行される認証処理の一実施形態を示す図である。
【図１２】本発明の態様に従って使用される、論理プロセッサ呼び出し命令の一実施形態を示す図である。
【図１３】本発明の態様に従った、図１２の論理プロセッサ呼び出し命令によって使用される要求ブロックの一実施形態を示す図である。
【図１４】本発明の態様に従った、図１２の論理プロセッサ呼び出し命令によって提供される応答ブロックの一実施形態を示す図である。
【図１５】本発明の態様に従った、ＰＣＩ機能を実行可能にするための論理の一実施形態を示す図である。
【図１６】本発明の態様に従って使用される、ＰＣＩ機能制御修正命令の一実施形態を示す図である。
【図１７】本発明の態様に従った、図１６のＰＣＩ機能制御修正命令によって使用されるフィールドの一実施形態を示す図である。
【図１８】本発明の態様に従った、図１６のＰＣＩ機能制御修正命令によって使用される他のフィールドの一実施形態を示す図である。
【図１９】本発明の態様に従って使用される、機能情報ブロック（ＦＩＢ）のコンテンツの一実施形態を示す図である。
【図２０】本発明の態様に従った、ＰＣＩ機能制御修正命令の論理の概要の一実施形態を示す図である。
【図２１】本発明の態様に従った、ＰＣＩ機能制御修正命令によって指定可能なセット・インターセプション（interception）制御動作の一実施形態を示す図である。
【図２２】本発明の態様に従って使用される、ＰＣＩロード命令の一実施形態を示す図である。
【図２３】本発明の態様に従った、図２２のＰＣＩロード命令によって使用されるフィールドの一実施形態を示す図である。
【図２４】本発明の態様に従った、図２２のＰＣＩロード命令によって使用される他のフィールドの一実施形態を示す図である。
【図２５】本発明の態様に従った、ＰＣＩロード動作を実行するための論理の一実施形態を示す図である。
【図２６】本発明の態様に従った、ＰＣＩロード動作を実行するための論理の一実施形態を示す図である。
【図２７】本発明の態様に従って使用される、ＰＣＩ記憶命令の一実施形態を示す図である。
【図２８】本発明の態様に従った、図２７のＰＣＩ記憶命令によって使用されるフィールドの一実施形態を示す図である。
【図２９】本発明の態様に従った、図２７のＰＣＩ記憶命令によって使用される他のフィ

ールドの一実施形態を示す図である。
【図３０】本発明の態様に従った、ＰＣＩ記憶動作を実行するための論理の一実施形態を示す図である。
【図３１】本発明の態様に従った、ＰＣＩ記憶動作を実行するための論理の一実施形態を示す図である。
【図３２】本発明の態様に従って使用される、ＰＣＩブロック記憶命令の一実施形態を示す図である。
【図３３】本発明の態様に従った、図３２のＰＣＩブロック記憶命令によって使用されるフィールドの一実施形態を示す図である。
【図３４】本発明の態様に従った、図３２のＰＣＩブロック記憶命令によって使用される他のフィールドの一実施形態を示す図である。
【図３５】本発明の態様に従った、図３２のＰＣＩブロック記憶命令によって使用されるさらに他のフィールドの一実施形態を示す図である。
【図３６】本発明の態様に従った、ＰＣＩブロック記憶動作を実行するための論理の一実施形態を示す図である。
【図３７】本発明の態様に従った、ＰＣＩブロック記憶動作を実行するための論理の一実施形態を示す図である。
【図３８】本発明の１つまたは複数の態様を組み込む、コンピュータ・プログラム製品の一実施形態を示す図である。
【図３９】本発明の１つまたは複数の態様を組み込みおよび使用するための、ホスト・コンピュータ・システムの一実施形態を示す図である。
【図４０】本発明の１つまたは複数の態様を組み込みおよび使用するための、コンピュータ・システムの他の例を示す図である。
【図４１】本発明の１つまたは複数の態様を組み込みおよび使用するためのコンピュータ・ネットワークを備える、コンピュータ・システムの他の例を示す図である。
【図４２】本発明の１つまたは複数の態様を組み込みおよび使用するための、コンピュータ・システムの様々な要素の一実施形態を示す図である。
【図４３】本発明の１つまたは複数の態様を組み込みおよび使用するための、図４２のコンピュータ・システムの実行ユニットの一実施形態を示す図である。
【図４４】本発明の１つまたは複数の態様を組み込みおよび使用するための、図４２のコンピュータ・システムの分岐ユニットの一実施形態を示す図である。
【図４５】本発明の１つまたは複数の態様を組み込みおよび使用するための、図４２のコンピュータ・システムのロード／記憶ユニットの一実施形態を示す図である。
【図４６】本発明の１つまたは複数の態様を組み込みおよび使用するための、エミュレートされたホスト・コンピュータ・システムの一実施形態を示す図である。
【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００５８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００５８】
機能を使用可能化した後、アダプタ機能に特有のデバイス・テーブル・エントリまたは機能テーブル・エントリあるいはその両方において、様々な動作パラメータが設定される。一例では、これらのパラメータ設定に、ＰＣＩ機能制御修正命令が使用される。具体的に言えば、一例では、情報が、機能情報ブロックから、機能に関連付けられたデバイス・テーブル・エントリまたは機能テーブル・エントリあるいはその両方へとコピーされる。たとえば、ＰＣＩ機能制御修正命令内に指定された機能情報ブロックを使用して、命令内に指定されたアダプタ機能に関連付けられた、選択されたデバイス・テーブル・エントリまたは機能テーブル・エントリあるいはその両方が修正される。デバイス・テーブル・エントリまたは機能テーブル・エントリあるいはその両方を修正するために使用される機能

情報ブロックのパラメータは、命令内に提供される動作制御に依存する。例として、動作制御は、アダプタ割り込みの登録／登録解除、アドレス変換の登録／登録解除、エラー状態のリセット、ブロックのロード／記憶のリセット、ＰＣＩ機能測定パラメータの設定、およびインターセプション制御の設定を、指定することができる。

【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００６８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００６８】
図１０を参照すると、初めにステップ５００で、ホストは１つまたは複数のアダプタ機能を、ゲストによる専用使用のために割り当てる。たとえば、ホストに割り当てられるアダプタ機能のうちの１つまたは複数は、たとえば、どのアダプタ機能がゲストに関連付けられているかを示す割り当てテーブルを介して、または、これらの関連付けを実行するコマンドなどによって、ゲストに割り当てられる。ホストは、例として、ＰＣＩロード、ＰＣＩ記憶、およびＰＣＩブロック記憶の命令が、ゲスト用に解釈されることを意図する。したがってホストは、以下で説明するように、ゲストに割り当てられた各機能について、ゲストに代わってある初期化動作を実行する。性能に不可欠でなく、アダプタの構成を制御する、他の命令（たとえば、ＰＣＩ機能制御修正）は、通常、ホストによってインターセプトされうる。

【誤訳訂正６】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００７０
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００７０】
一例では、ホストへインターセプトする論理プロセッサ呼び出し（ＣＬＰ）ＰＣＩ機能設定コマンドをゲストが実行することに応答して、認証トークンの割り当てが実行される。認証トークンの割り当ては、ゲストに代わってホストがＰＣＩ機能設定コマンドを実行すること、および、ゲストのＧＩＳＡ指定を認証トークンとして指定することによって、実施される。命令の実行中、ＧＩＳＡ指定はコマンド要求ブロックからコピーされ、割り当てられているアダプタ機能に関連付けられた機能テーブル・エントリ内に配置される。これについては、以下でより詳細に説明する。

【誤訳訂正７】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００７１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００７１】
さらにホストは、ステップ５０６で、ゲストのアダプタ機能に関する命令の解釈を使用可能にする。たとえばホストは、アダプタ機能に関する機能テーブル・エントリ内のインターセプション制御インジケータがゼロに設定されるように保証する。一例では、ＰＣＩ機能制御修正命令を使用してこの制御が設定され、これについては以下でより詳細に説明する。

【誤訳訂正８】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００７５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００７５】

さらに、照会６０６で、ＰＣＩロード／記憶解釈に関するアダプタ機能が使用可能であるかどうかに関する他の決定が実行される。たとえば、ホストがＰＣＩ機能ごとにＰＣＩ命令の解釈を使用可能および使用不可にできるようにするための制御が提供される。一例では、この制御は、その値が（一例では、ＰＣＩ機能制御修正命令のオペランドとして提供される）機能情報ブロックから取得される、機能テーブル・エントリ内のインターセプション制御インジケータである。一例で、このインジケータが設定された場合、照会６０８で、このアダプタ機能に対してＰＣＩロード、ＰＣＩ記憶、およびＰＣＩブロック記憶の命令を発行することを、ゲストが認証されているかどうかに関する他の決定が実行される。

【誤訳訂正９】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００７７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００７７】
しかしながら、いずれかの妥当性チェックが不合格の場合、ステップ６１２で、ホストへインターセプションすることが生じる。すなわち、上記命令はホストの介入によって実行される。

【誤訳訂正１０】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００９４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００９４】
インターセプション制御９５２：このフィールドは、ページング可能モード・ゲストによる特定の命令のゲスト実行の結果、命令のインターセプションが生じるかどうかを示すために使用される。

【誤訳訂正１１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１１５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１１５】
本発明の態様に従い、ＰＣＩ機能制御修正命令で指定された機能情報ブロックを使用して、選択されたデバイス・テーブル・エントリ、機能テーブル・エントリ、あるいは、命令内で指定されたアダプタ機能に関連付けられた他のファームウェア制御、またはそれらすべてが、修正される。デバイス・テーブル・エントリ、機能テーブル・エントリ、あるいは他のファームウェア制御、またはそれらすべてを修正することによって、アダプタにあるサービスが提供される。これらのサービスは、たとえば、アダプタ割り込み、アダプタ変換、エラー状態のリセット、ロード／記憶のブロックのリセット、機能測定パラメータの設定、およびインターセプション制御の設定を含む。

【誤訳訂正１２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１１８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１１８】
図２０を参照すると、初めに、照会１０００で、ＰＣＩ機能制御修正命令を可能にする機構がインストールされているかどうかに関して決定される。この決定は、たとえば制御ブロック内に記憶された、たとえばインジケータをチェックすることによって実行される

。この機構がインストールされていない場合、ステップ１００２で例外条件が提供される。インストールされている場合、照会１００４で、ページング可能ストレージ・モード・ゲスト（または他のゲスト）によって命令が発行されたかどうかに関して決定される。発行された場合、ステップ１００６で、ホスト・オペレーティング・システムはそのゲストに関する動作をエミュレートすることになる。たとえば、ホストはインターセプトし、且つこのゲストに対してインターセプション制御が許可されるかどうかを決定する。この決定は、ＦＴＥをチェックすることによって実行される。インターセプションが認証された場合、ホストはゲストの代わりにＰＣＩ機能制御修正命令を再発行することになる。認証されない場合、例外条件が提供される。

【誤訳訂正１３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１２１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１２１】
照会１０２２で、機能テーブル・エントリが見つかったかどうかが決定される。見つからない場合、ステップ１０２４で例外条件が提供される。見つかった場合、照会１０２６で命令を発行している構成がゲストであれば、ステップ１０２８で例外条件（たとえば上記ホストへのインターセプション）が提供される。構成がゲストでない場合、または、他の認証が指定されていてチェック可能である場合、この照会は、無視することができる。

【誤訳訂正１４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１２５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１２５】
ＰＣＩ機能制御修正命令の動作制御によって指定可能な１つの動作は、アダプタからの割り込みを制御するために使用されるインターセプション制御設定動作である。この動作により、機能情報ブロックの割り込み制御フィールドから、割り込み制御に対してＰＣＩ機能パラメータが設定される。この動作制御は、ページング可能ストレージ・モード・ゲストによって発行された場合、保存されるものとみなされる。

【誤訳訂正１５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１２６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１２６】
インターセプション制御設定動作の論理の一実施形態について、図２１を参照しながら説明する。一例では、オペランドは機能情報ブロックからのインターセプション制御である。この動作の指定に応答して、ステップ１０６０で、機能情報ブロックからのインターセプション制御に対して機能テーブル・エントリ内のインターセプション制御が設定される。

【誤訳訂正１６】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１４１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１４１】
その後、照会１２１３で、命令がゲストによって発行されたかどうかが決定される。ゲストによって発行された場合、照会１２１５で、インターセプション制御が（たとえば１

に）設定されたかどうかがさらに決定される。この決定は、ＦＴＥ内のインターセプション制御をチェックすることによって実行される。設定された場合、ステップ１２１７で例外条件が提供される。設定されない場合、照会１２１４で、機能がゲストによって使用されるように構成されたかどうかが決定される。認証されていない場合、ステップ１２１６で例外条件が提供される。構成がゲストでない場合、または、他の認証が指定されていてチェック可能である場合、この照会は、無視することができる。

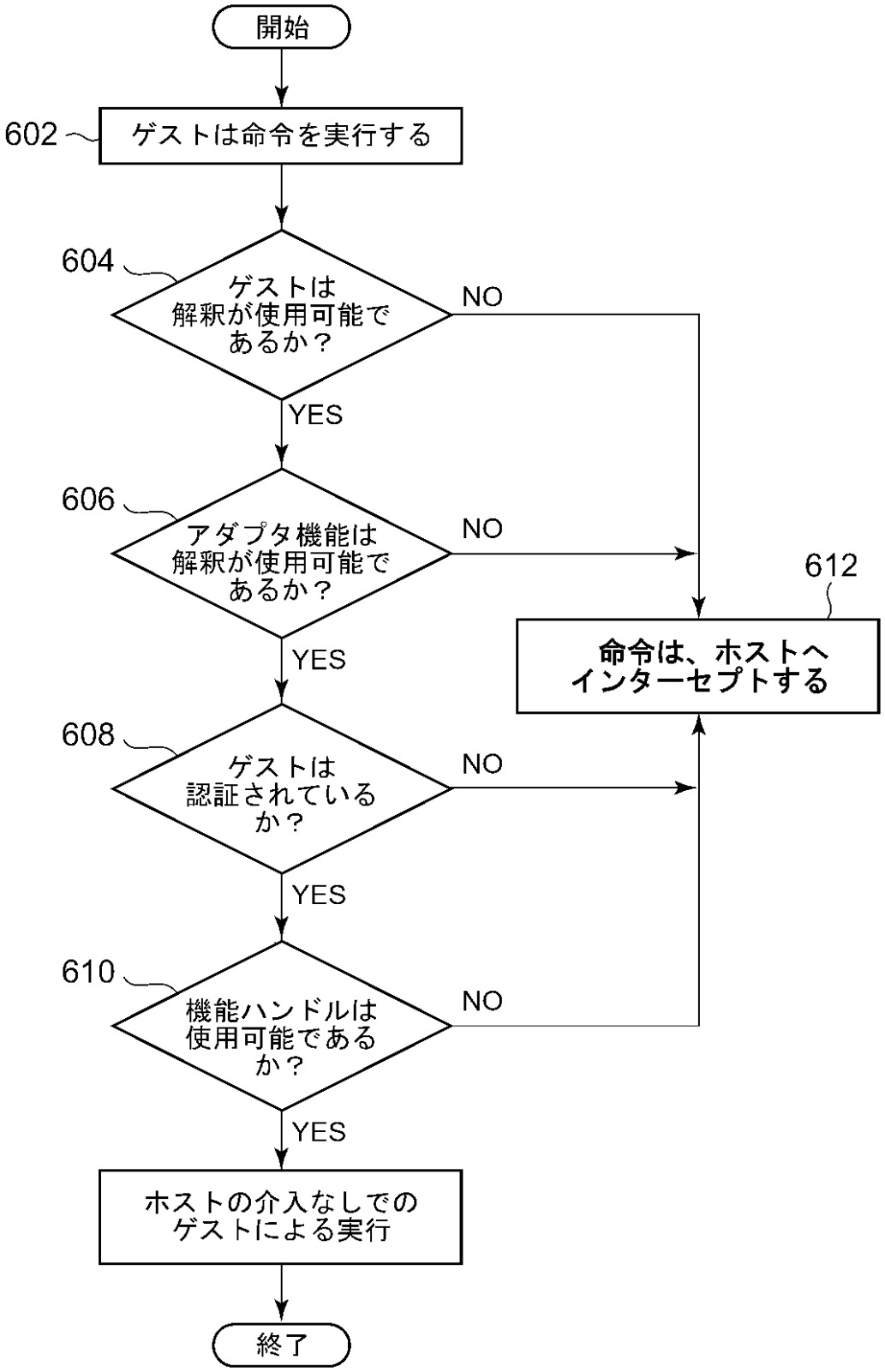
【誤訳訂正１７】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１６２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１６２】
その後、照会１４１３で、命令がゲストによって発行されたかどうかが決定される。ゲストによって発行された場合、照会１４１５で、インターセプション制御が（たとえば1に）設定されたかどうかがさらに決定される。この決定は、ＦＴＥ内のインターセプション制御をチェックすることによって実行される。設定された場合、ステップ１４１７で例外条件が提供される。設定されない場合、照会１４１４で、機能がゲストによって使用されるように構成されたかどうかが決定される。認証されていない場合、ステップ１４１６で例外条件が提供される。構成がゲストでない場合、または、他の認証が指定されていてチェック可能である場合、この照会は、無視することができる。

【誤訳訂正１８】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１８４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１８４】
その後、照会１６１３で、命令がゲストによって発行されたかどうかが決定される。ゲストによって発行された場合、照会１６１５で、インターセプション制御が（たとえば1に）設定されたかどうかがさらに決定される。この決定は、ＦＴＥ内のインターセプション制御をチェックすることによって実行される。設定された場合、ステップ１６１７で例外条件が提供される。設定されない場合、照会１６１４で、機能がゲストによって使用されるように構成されたかどうかが決定される。認証されていない場合、ステップ１６１６で例外条件が提供される。構成がゲストでない場合、または、他の認証が指定されていてチェック可能である場合、この照会は、無視することができる。

【誤訳訂正１９】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０１９３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０１９３】
解釈制御は、ゲストおよび機能レベルの両方で、ＰＣＩ命令解釈を介してホストに制御を与える。シミュレート・デバイス（すなわちデバイスのソフトウェア表現）および専用デバイス（すなわちハードウェア・デバイス）の混合が存在可能である。シミュレート・デバイスの場合、インターセプション制御は存在しない。ゲストＰＣＩロード／記憶命令は、ホストへインターセプションし、ホストは、デバイスが存在したかのようにゲストに見せるために状況を維持するよう、ＦＴＥおよびＤＴＥのバージョンを維持することになる。

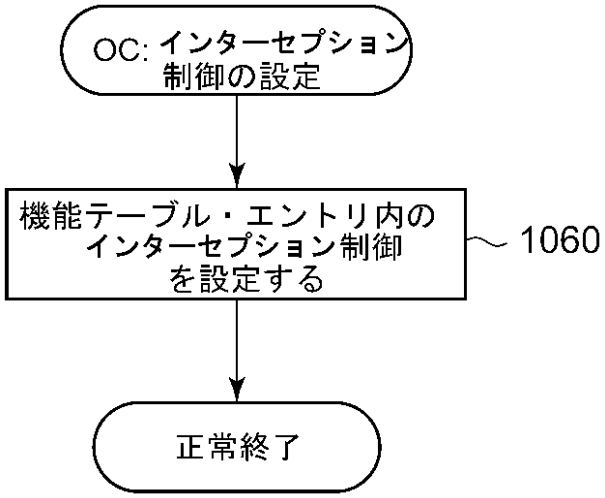
【誤訳訂正２０】
【訂正対象書類名】図面
【訂正対象項目名】図１１

【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【図１１】



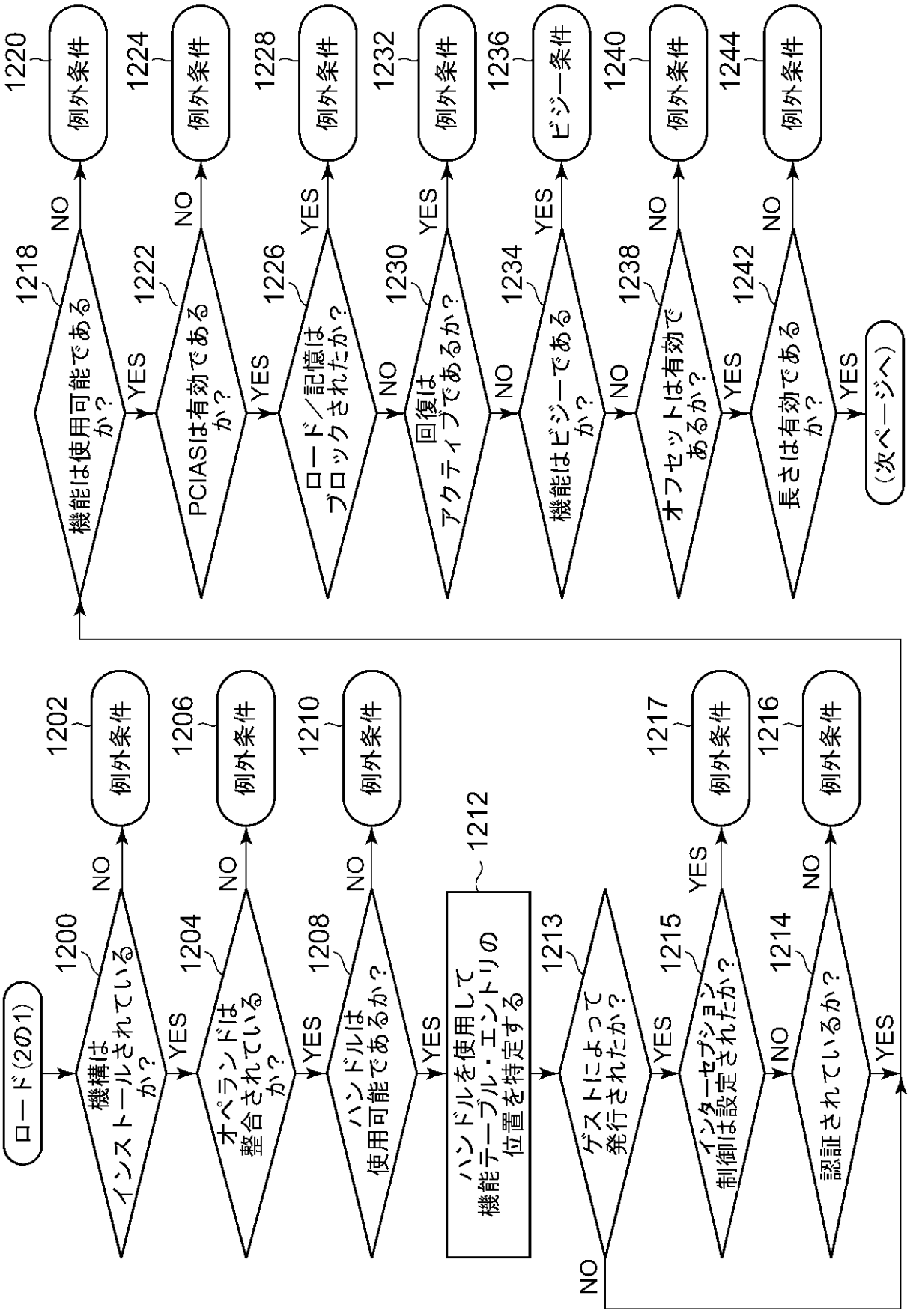
【誤訳訂正２１】
【訂正対象書類名】図面
【訂正対象項目名】図２１

【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【図２１】



【誤訳訂正２２】
【訂正対象書類名】図面
【訂正対象項目名】図２５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】

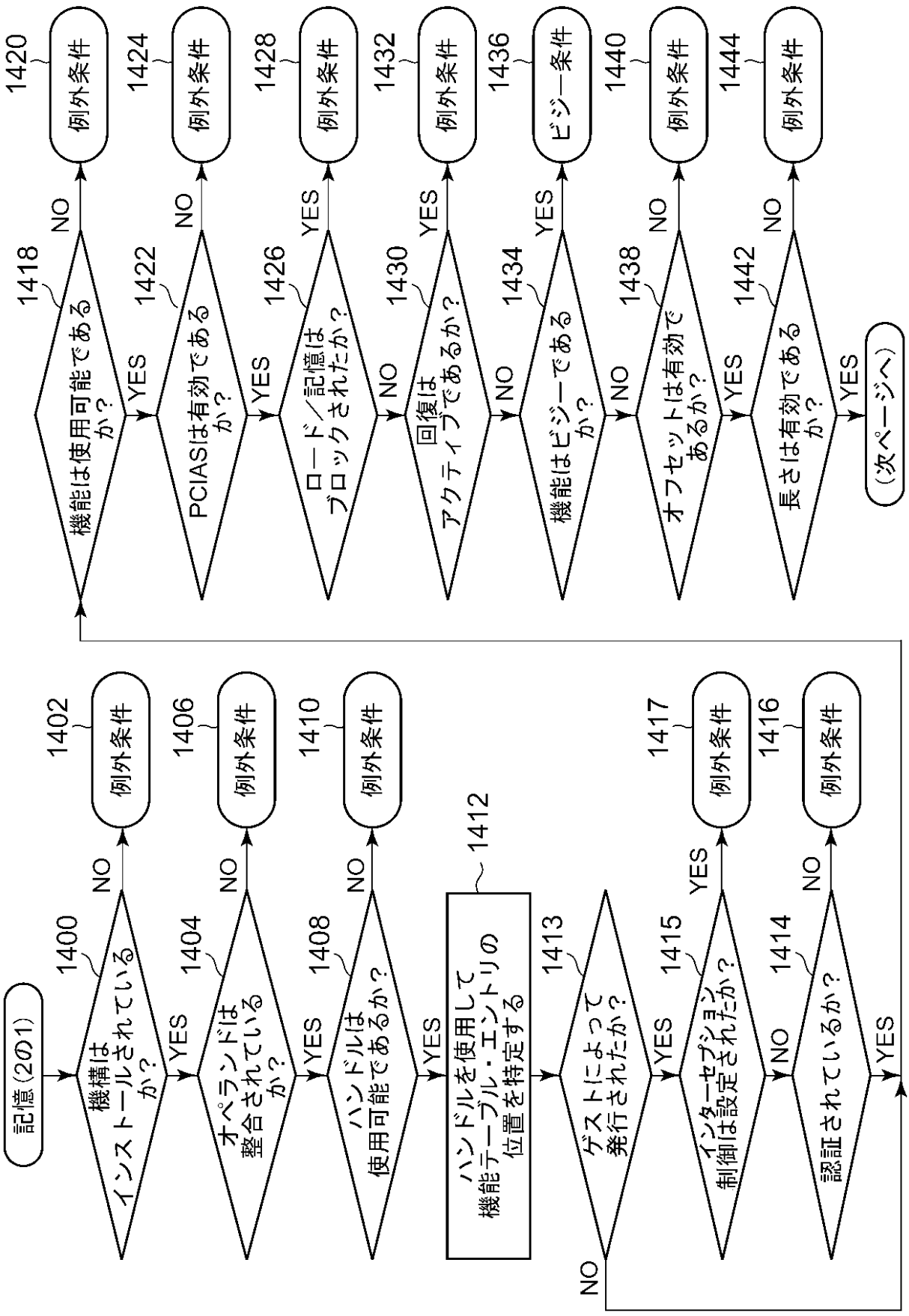
【図２５】



【誤訳訂正２３】
【訂正対象書類名】図面

【訂正対象項目名】図３０
【訂正方法】変更
【訂正の内容】

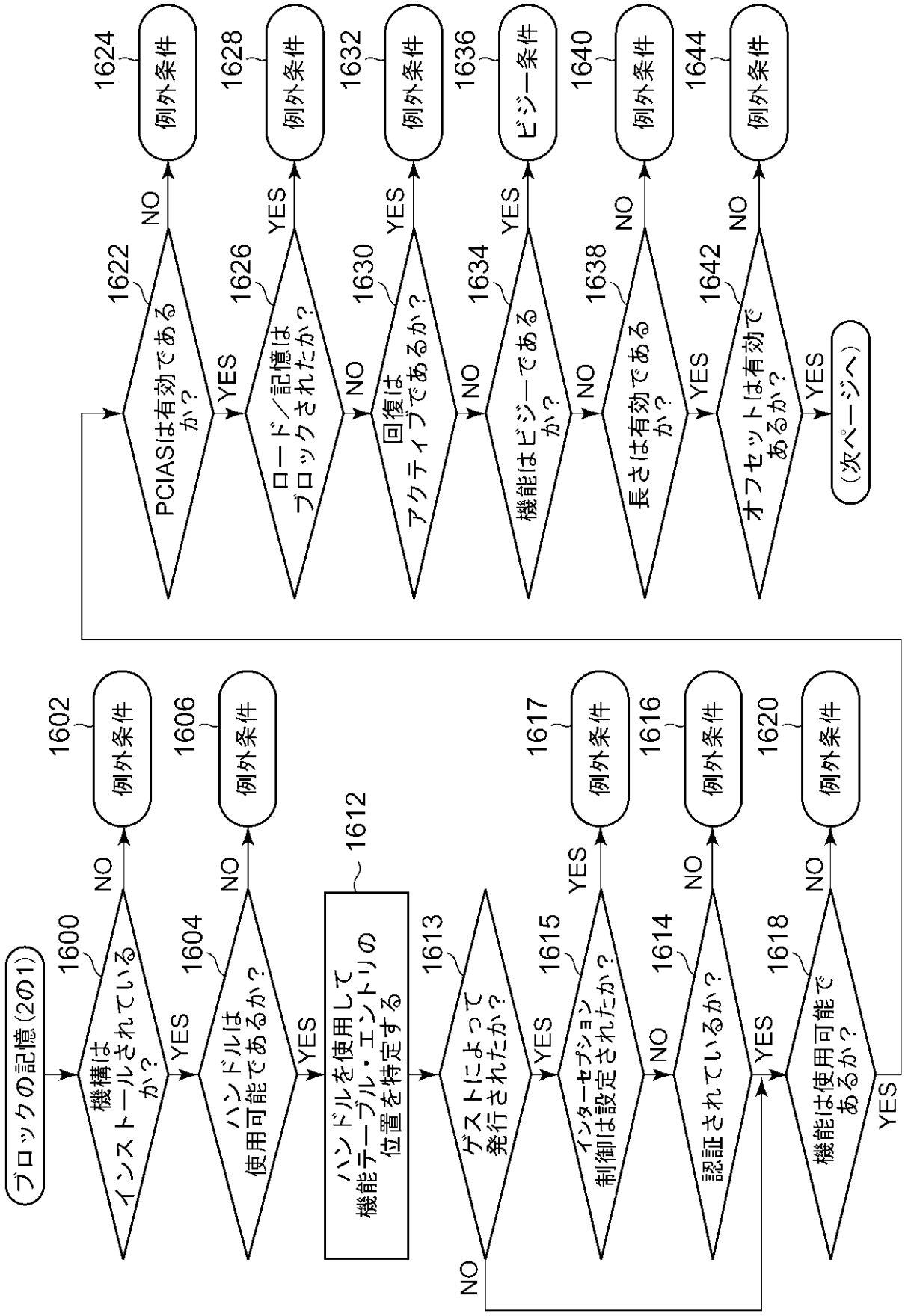
【図３０】



【誤訳訂正２４】
【訂正対象書類名】図面

【訂正対象項目名】図３６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】

【図３６】


ブロックの記憶(201)
1600
機構はインストールされているか？
NO
1602
例外条件
YES
1604
ハンドルは使用可能であるか？
NO
1606
例外条件
YES
1612
ハンドルを使用して機能テーブル・エントリの位置を特定する
1613
ゲストによって発行されたか？
NO
YES
1615
インターセプション制御は設定されたか？
NO
1614
認証されているか？
NO
1616
例外条件
YES
1617
例外条件
YES
1618
機能は使用可能であるか？
NO
1620
例外条件
YES
1622
PCIASは有効であるか？
NO
1624
例外条件
YES
1626
ロード／記憶はブロックされたか？
YES
1628
例外条件
NO
1630
回復はアクティブであるか？
YES
1632
例外条件
NO
1634
機能はビジーであるか？
YES
1636
ビジー条件
NO
1638
長さは有効であるか？
NO
1640
例外条件
YES
1642
オフセットは有効であるか？
NO
1644
例外条件
YES
（次ページへ）